

新年度がスタートして早くも2カ月が経とうとしています。少しずつ新しい環境に慣れ、子ども達の笑顔も増えたように感じられます。過ごしやすい季節となり、子ども達も外遊びを楽しむ中で、「みてみて!」「これはなに?」と自然物や生き物との出会いを楽しんでいます。その出会いの中で発見した事や気付いた事等を保育者や友だちと共有しながら楽しんでいきますよ。



虫との出合いを楽しんでいます

ある日、園庭へ行くと、大きなアリを見つけた子ども達。「アリヤー!」「怖い怖い!」「先生が取って!」と、怖いと言いつつも興味津々でアリを観察していました。初めは、見るだけだったのが、“触ってみたいな”“捕まえてみたいな”と思うようになり、自分でアリを入れる物を持ってきたり、逃げないように蓋をしてみたりと子ども達なりに工夫していました。自分で捕まえられた達成感や喜びはとても大きいようで、とても嬉しそうな表情で保育者に見せに来てくれますよ。それから虫への興味は更に深まり、園庭や散歩先でダンゴムシやミミズを見つけると、「捕まえる!」と、意気込んでいます。「怖いから先生取ってよ」と言っていたのが、「自分でとれるよ!見て!」と、言うようになり、逞しさと成長を感じます。保育室にも飼育ケースを用意したり、子ども達が捕まえた虫の写真を貼ったりし、さらに興味関心が深まるよう、これからも見守っていきたいと思います。

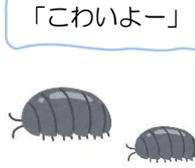
園庭の紫陽花の花の下がダンゴムシ、ミミズが沢山いるスポットだと知った子ども達は、園庭へ行くとそこへお皿とスコップを持って行っています。



給食さんに食材をもらって、ダンゴムシさんに餌をあげています。



「だんごむしさん登ってる」「どうやって登ったのかな」「このだんごむしさん喧嘩してる!」等と飼育ケースに入ってる虫を観察しながら友だちと気付いた事を言っています。



「こわいよー」



「こわくないよ!」「どーぞ」と、だんごむしを取ってあげていました。可愛いやり取りでした♡



アイス屋さんごっこ

「美味しいアイスはいかがですか?」



子ども達の遊びの姿から、アイスの絵を貼ってみると、玩具をアイスに見立ててアイス屋さんごっこが始まりました。「いらっしゃいませ〜」「アイスはありますか?」「何のアイスがいいですか?」「手を消毒して下さいね」「アイス、ピッてしてからあげますね」等と自分が経験、体験した事を遊びに取り入れたり言葉にして話したりしながら友達と物や言葉のやり取りを楽しんでいます。又、アイス进行たくさん作り、友だちとアイスパーティをしたり、絵カードをしながらアイスを食べたりと、遊び方は様々で面白いです。最近では、玩具をポップコーンに見立てたり、かき氷に見立てたりする姿が見られるようになってきました。これからまたどんな遊び方をしていくのか、保育者も楽しみです。



獅子舞ごっこも流行っています♪



人気のアイス屋さんですね♪

レゴブロックを複雑に組み合わせ、「ここがアイスで、ここが消毒で、ここがピッてするところ」とイメージを膨らませて遊びを楽しんでいます。

